

平成 28 年度 第 3 回 学校協議会議事録

日 時：平成 29 年 2 月 17 日（金） 15:30～17:00

場 所：大阪府立桜塚高等学校 応接室

出席者（計 12 名）：委員（中岸、村田、伊原、山澤）（敬称略）

門田准校長、梶田教頭、住友事務部長、田中主査、土井、中島、藤下、坂本

欠席者（計 3 名）：委員（中山、関野）（敬称略）

藤下

協 議 内 容

1. 准校長挨拶

2. 協議

■「学校教育自己診断」の説明（准校長）

○生徒集計結果では、「本校に入学してよかったと思う」という項目が毎年、ほぼ 90%前後を維持している。ほぼ全ての質問項目に対しても、回答が 80%程度の肯定的な回答を得られている。今後は残りの 20%がどのような不満を持っているのか掴んでいく必要がある。

○教員集計結果では、「本校は多くの生徒にとって魅力のある学校である」等の質問項目がある。ほぼ全ての質問項目に対して、回答が 100%の肯定的な回答が得られている。

■「学校経営計画及び学校評価」の説明（准校長）

○学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見で、昨年度、「外部への情報発信」については、もっとも評価が低かった。今年度は、肯定的評価が 18%向上したが、他の設問と比較するとまだまだ低い。地域の中学校との連携強化や、Web ページの改修・学校のメルマガ作成等の情報発信の一層の推進を進めていく。

○生徒自治会を中心に、全日制と連携しながら、80周年記念事業へ生徒が関わっていくよう推進していく。

■教務部より（中島）

○次年度の教育課程の選択科目の選定が終了した。詳しくは、次の学校協議会で報告予定。

■生活指導部より（土井）

○大阪府の条例で、自転車使用者に自転車保険の加入が義務づけられたので、学校でも紹介し保険の加入を促せた。

○雨の日に、自転車登校をする生徒に対してレインコートを着てくるよう指導した。また、レインコート掛けを導入した。結果、自転車登校者のレインコート着用が定着してきた。

■進路指導部より（教頭）

○今年度は、求人数が増加しており、あきらめなければ必ず就職できる状況にある。また、初めて高卒求人を実施する企業も多くある。内定から入社までのルールを知らない企業が複数あったため、ハローワーク等の機関との連携が必要である。

■学校行事について（教頭）

○文化祭が 10 月 13・14 日に開催された。看板コンテストの優勝クラスは、3-2 でした。

○大阪府高等学校定時制通信制生徒秋季発表大会で様々な部門で奨励賞を受賞した。

また、演劇部も本大会に出場した。

○10 月 30 日～11 月 2 日まで、沖縄へ修学旅行に行ってきた。

- 定時制・全日制自治会合同でクリスマスの飾りつけをした。初めての取り組みだったが、お互い協力し、飾り付けを通して親交が深めた。
- 第1回学校説明会では、アンケートの中に、実際の授業が見たいという意見があった。第2回学校説明会では、4か所に分かれて体験授業を行った。元々良いイメージを持ってなかった参加者が、実際の授業風景等を見学されて、大変良いイメージが持てたと好評であった。
- 12月26・27日に本校で進学相談会を行った。

■その他（ご意見）

- 若者支援機関とは？ → ぐらし再建パーソナルサポートセンター@いぶき（キャリアブリッジ）などの機関を通して就職支援などを行っている。
- 昔とは、違った学校だが、時代にあった教育を行っている所が良いと思った。
- 修学旅行で見学ばかりでなく、民泊を通して人と人とのふれあいが非常に良いと思った。
- 40代・50代の生徒からの問い合わせがあることに驚いた。
- 入学当初、自尊感情のとても低い生徒がいたが、現在非常に成長している様子を見ると、夜桜の教育がよいものだった。
- 夜桜で自尊感情が育てば、すごく幸せになると思った。
- 定時制の先生方ってすごく頑張っている先生が多いと思った。

3. 閉会の言葉